

# 和やかに 敬老会

九月十五日で七十歳以上を迎えたお年寄は、町内で二八二人。結婚五十周年を迎えたご夫婦は、一八組です。

これらの方がたを招待した敬老会が町体育館で開かれました。

交通安全協会光支部のかわいぬいぐるみによる踊りを取り入れた楽しい交通指導で開幕。

七十歳には湯呑み茶碗、八十歳には、祝金と杖に知事祝品、八十八歳には祝金と座布団、八十九歳以上には祝金、



タオルケツト、結婚五十周年には夫婦梳と丸額の記念品が贈られました。式では七十歳、



会場には健康相談コーナーが設けられました

八十歳、八十一歳以上結婚五十周年のそれぞれの代表に町長、社会福祉協議会長から記念品が贈られました。

恒例の演芸は、宝米若連に

よる面舞、日赤光分区奉仕団員による大正琴の演奏、老人代表四人によるカラオケ発表と色とりどり。面舞にはお菓子のおひねり?も飛びだし、カラオケに花束が届くなどなごやかに終了しました。

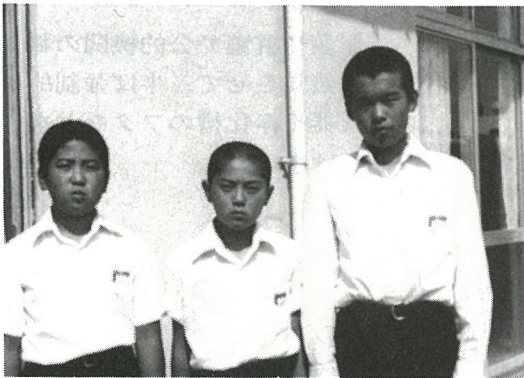
## 町内小中学生が善行

光中学校1年生の土屋秀樹君(篠本三区)、田山博之君(篠本二区)、伊橋祥典君(篠本二区)の3人に、親切運動実行章が贈られ、9月14日に八日市場警察署で伏見署長から伝達を受けました。

この3人は、日吉小学校に在学中、下校途中に道端に落ちている空カンを毎日拾い続け、他の児童の模範となっていたため、小さな親切運動実行章を申請し、認められたものです。



東陽小学校5年の早川裕二君(作間内)は8月10日に現金を拾得、すぐに駐在所へ届け出をしてくれたため、無事落とし主に返り大変喜ばれました。



右から  
伊橋君・土屋君・田山君

## 観光農園で 新米の餅をサービス

九月二十七日に家族連れ八十人が集まり、観光農園(桑郷)でさつま芋の収穫をしました。一区画で一〇キログラム以上の収穫があり、訪れた人たちは大喜び、農協婦人部の方たちが協力してくれ、桑郷集落センターで取れたてのさつま芋を蒸してもらい食べました。また、農協青年部が新米を提供、みんなで餅をつき、あんことからみの昼食。「観光農園もよかったです、餅もおいしかったから来年も是

非来たいね」と好評でした。なお、この日収穫に來れなかった家庭には、農協から宅配便で届けることでした。

